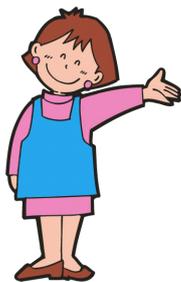


就職に役立つ専門スキルを身につけませんか!!

募集期間延長



介護職員基礎研修科

四日市校

5月8日開講 6か月コース

訓練目標

社会人としての一般知識やコミュニケーションスキルを身につけ、介護職員として対人理解や対人援助の基本的な視点と理念、専門的な職務に当たる上での基本姿勢、基本的な技術・知識等を習得する

介護職員基礎研修とは

介護サービスの質の向上を図る上で、施設、在宅を問わず、介護職員として介護サービスに従事する職員の共通の研修として、平成18年度に創設されました。修了後はサービス提供責任者として勤務が可能である等、ヘルパー1級課程より上位の位置付けとなり更なる活躍が期待できます。

取得可能な資格

介護職員基礎研修修了者

訓練実施施設の概要

SFNアカデミー 四日市校 (株式会社スケールフリーネットワーク)

〒510-0086 三重県四日市市諏訪栄町5-4
ニューヨッカイビル5F (駐車場なし)
近鉄四日市駅から徒歩10分



●職業訓練受講給付金のご案内

ハローワークの支援指示を受けて求職者支援訓練等を受講する方が、一定の要件を満たす場合に支給されます。詳細はハローワークにお問い合わせください。

訓練要領

募集期間：平成24年3月5日(月)～平成24年4月12日(木)
訓練期間：平成24年5月8日(火)～平成24年11月6日(火)
時間：9:30～16:00 (土日祝・一部平日休み)
定員：20名 (応募者数が定員の半数に満たない場合は、訓練を中止する場合があります)

受講料：無料

自己負担：教科書代 (17,600円)、
健康診断費用(概ね7,000円)、
実習先への交通費 (概ね24,000円)

受講対象者

公共職業安定所に求職申込を行っており、職業相談の上、公共職業安定所長の支援指示が受けられる特定求職者(雇用保険の失業給付を受給できない求職者等)

申込方法

4月12日締切

受講を希望される場合は、住所を管轄するハローワークで手続きが必要です。

選考試験について

選考日程：平成24年4月19日(木) 9:30～12:00 (予定)

選考方法：筆記試験、面接 持ち物：筆記用具

結果通知：平成24年4月24日(火) 郵送にて

選考場所：左記、訓練実施場所と同じ

事前説明会のご案内

3月30日(金)、4月6日(金)

16:30 (開場16:15)～四日市校にて

- ※参加にはご予約が必要です。(当日予約可)
- ※求職者支援訓練の説明から、講座の内容まで詳しくご説明します。
- ※下記までお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ

SFN アカデミー 金山校

〒460-0022 名古屋市中区金山1-7-10 金山名藤ビル6
受付時間：9:30～17:30 (月曜～金曜)

TEL : 052-265-7830

かみぎた
(担当: 上北)

※上記番号につながらない場合は
052-228-0561 までご連絡ください。

http://www.scalefree.co.jp/soft_juku/

訓練カリキュラム

訓練実施機関名: 株式会社スケールフリーネットワーク

訓練の種類	<input type="checkbox"/> 基礎コース <input checked="" type="checkbox"/> 実践コース (介護福祉 分野)		想定する就職先の職務・仕事 (※基礎コースの場合は記載不要)				
訓練科名	介護職員基礎研修科 ※40文字以内で記入してください。		介護福祉を行う企業				
募集期間(予定)	平成24年 3月 5日～平成24年 4月 12日						
選考日(予定)	平成24年 4月 19日						
選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 面接 <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> その他()						
選考結果通知日	平成 24年 4月 24日						
訓練期間	平成 24年 5月 8日～平成 24年 11月 6日 (6か月)(訓練日数 108日)						
訓練時間	9時 30分	～	16時 00分	訓練定員 20名			
訓練対象者の条件	無し						
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)	<input type="checkbox"/> 新規学校卒業者 <input type="checkbox"/> ニート等の若者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 母子家庭の母等 <input type="checkbox"/> 被災者 <input type="checkbox"/> 外国人 <input type="checkbox"/> その他()						
訓練目標 (仕上がり像)	社会人としての一般知識やコミュニケーションスキルを身につけ、介護職員として対人理解や対人援助の基本的な視点と理念、専門的な職務に当たる上での基本姿勢、基本的な技術・知識等を習得する						
訓練修了後に取得できる資格	名称(介護職員基礎研修課程) 認定機関(厚生労働省) <input type="checkbox"/> 任意受験 名称() 認定機関() <input type="checkbox"/> 任意受験						
訓練内容	科目	科目の内容			訓練時間		
	学	入所式・オリエンテーション・卒塾式	入塾準備、訓練の概要説明、諸注意(4H) :卒塾式、修了証書授与(4H)				
		職業能力基礎講習	ビジネスマナー、電話対応、挨拶、身だしなみ、態度、言葉遣い			57	
		①生活支援の理念と介護における尊厳の理解	人間理解、生活の考え方、福祉の考え方、介護の基本的視点とケアワークの意義、利用者の権利と尊厳、地域生活支援の理解と技術			36	
		②高齢者、障害者等が活用する制度およびサービスの理解	ソーシャルワークの基礎的理解、相談援助とケアワークの基礎実践技術の習得、チームワークとケアワーク、地域に根差した包括的ケアの基礎的理解、困難事例への対応に関する事例を通じた理解			36	
		③高齢者、障害者等の疾病、障害等に関する理解	医療・看護との連携の基礎的理解、医療機器・薬の基礎的理解、リハビリテーション医療の基礎的理解、ターミナルケアへの対応			36	
		④認知症の理解	認知症の医学的背景の理解、認知症の心理学的理解、認知症高齢者の介護、認知症介護における医療・保険・福祉サービスとの連携、家族へのケア			36	
		⑤介護におけるコミュニケーションと介護技術	コミュニケーションと信頼関係形成の基礎的理解、利用者・家族の理解と心のケアの基礎、介護技術、基礎的介護技術の習得、福祉用具の活用と住宅改修の基礎的理解、介護予防の理解と方法の基礎的理解			108	
		⑥生活支援と家事援助技術	ケアプランとサービス計画に関する基礎的理解、ケアプランとサービス計画の作成手順に関する基礎的理解、ケアプラン・サービス計画とサービス提供の実際			36	
		⑦医療および看護を提供するものとの連携	介護保険制度(その1)制度の概要、介護保険制度(その2)介護サービスと介護報酬、介護保険制度(その3)制度創設の背景、制度改正の経緯と内容、高齢者福祉に関する制度とサービスの知識、障害者福祉制度と施策、その他の制度・施策			36	
		⑧介護における社会福祉援助技術	加齢の生理、高齢者に多い疾病の医学的理解、障害と疾病、感染症の理解と予防、訴えと症状の理解			36	
	⑨生活支援のためのアセスメントと計画	生活支援の目的、機能と基本原則、生活の理解、食生活の支援、快適な環境の維持と安全管理			36		
	⑩介護職員の倫理と職務	介護職員の職業倫理、生命倫理、基本的マナー、介護職員の職務理解、介護職員としての自覚・やりがい			36		
	安全衛生	必要性の理解、職場での安全衛生の理解			3		
	実技	事前演習	事前実習			9	
介護実習(所外)		施設・居住型実習 8H×10日			80		
		通所・小規模多機能型実習 8H×3日			24		
事後演習	訪問介護実習 8H×2日			16			
	地域の社会資源実習 4H×1日			4			
		事後演習			9		
	<input type="checkbox"/> 職場体験 <input checked="" type="checkbox"/> 職業人講話 <input type="checkbox"/> 職場見学 <input type="checkbox"/> その他	職業人講話(必要とされる人材、技術の動向) 職場体験、職場見学は施設実習にて行う			6		
企業実習	<input type="checkbox"/> 実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 実施する ※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。						
訓練時間総合計	640時間	学科	492時間	実技	142時間	職場体験等	6時間
受講者の負担する費用	教科書代 17,600 円 その他(健康診断、検便) 概ね 7,000 円 実習施設への交通費 概ね 24,000 円(16日分)		合計 48,600 円				
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する					
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	介護職員基礎研修のガイドラインに沿った順序で訓練を行い、基本的事項から専門的事項へと段階的に履修することで介護職に対する偏見と難解さを緩和させる。					
	受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	レポートの進捗から各受講者の理解度を確認し、個別にフォローアップすることによって各受講者の個人差をなくす					